

# 日本シェイクスピア研究書誌

(平成編) (追加増補版) 1

平成1年～平成16年

佐々木 隆



## 目 次

日本シェイクスピア研究書誌（平成編）（追加増補版） 1 平成 1 年～平成 16 年

はじめに 2

凡例 3

日本シェイクスピア研究書誌 平成 1 年～平成 16 年 5

日本シェイクスピア研究書誌（平成編）（追加増補版） 2 平成 17 年～平成 31 年

日本シェイクスピア研究書誌 平成 17 年～平成 31 年 4 0 6

おわりに 7 1 9

## はじめに

本書は『日本シェイクスピア研究書誌（平成編）（増補版）』（イーコン、平成 26 年 10 月）の追加版である。新しく現物確認ができた資料などあり、出来るだけ反映するように努めた。また、すべてではないが、博士論文や科学研究費補助金報告書についても取り上げた。なお、情報量の増加にともない、平成 1 年 1 月 8 日～平成 16 年 12 月 31 日、平成 17 年 1 月 1 日～平成 31 年 4 月 30 日でそれぞれ分冊とした。

この書誌はもともとは『日本シェイクスピア総覧』（エルピス、平成 2 年）、『日本シェイクスピア総覧 2』（エルピス、平成 7 年）、『シェイクスピア研究資料集成』（別巻 1、別巻 2、日本図書センター、平成 10 年）、『CD-ROM 版日本シェイクスピア総覧』（エルピス、平成 17 年）、『日本シェイクスピア研究書誌（平成編）』（イーコン、平成 21 年）、『日本シェイクスピア研究書誌（平成編）（増補版）』（イーコン、平成 26 年）といった一連のシェイクスピア書誌の続編である。続編は通常新しい時代へと続くが、この場合にはむしろ資料の見直しにより過去に遡った。いずれは江戸時代からの総合受容書誌として整理したいと考えている。凡例等は基本的にはこれまでに準じている。

平成 26 年(2014)はシェイクスピア生誕 450 年という記念すべき年であり、平成 28 年(2016)はシェイクスピア没後 400 年を迎え、この数年は *Shakespeare Years* を迎えた。これを機会に『江戸時代のシェイクスピア受容』（イーコン、平成 25 年 10 月）、『日本シェイクスピア研究書誌（江戸時代編）』（イーコン、平成 25 年 12 月）も世に送り出し、個人的にもシェイクスピア受容研究の補足と見直しを開始している。

今回の見直し行なうにあたり、平成 24 年 4 月より早稲田大学坪内博士記念演劇博物館招聘研究員となったことから、調査活動はさらに充実したものとなっていることはありがたい限りである。本書の原点となった『日本のシェイクスピア』（エルピス、昭和 63 年 2 月）に「完璧を期することは、不可能に近い難事」であると推薦文の寄せて下さった小津次郎先生の言葉は、書誌に携わる者としては、常に挑戦者であり続けたいと思うと同時に細心の注意を払いながら補完に務めたいと考えている。どんなにインターネットでの検索が自由になり、アーカイブが整理されようが、最後は現物の確認が最も重要なものと考えている。

昭和晩年に取り組みはじめた「日本シェイクスピア書誌」も、平成を越え、令和という新しい時代にまで入り込んでいるが、書誌ということから常に途中経過である。大学・大学院の授業でお世話になった三神勲先生、三好弘先生には感謝の念に絶えない。私に書誌の道を導いて下さった武田勝彦先生、絶え間なく研究指導して戴いた荒井良雄先生は、今ではもう直接御礼やご挨拶さえできない世界におられる。高橋康也先生や扇田昭彦先生にもこれまでの総覧や集成では大変お世話になったが、もうお会いすることはできない。

現在まで調査してまとめた情報は、*Shakespeare News from Japan* という年報を発行し、*World Shakespeare Bibliography* に合わせて情報を送り続けている。この活動ももう 20 年以上になる。*World Shakespeare Bibliography* での情報は *Shakespeare Quarterly* に反映されているため、日本のシェイクスピア研究の状況を 20 年以上にわたり提供していることになる。この情報提供では

上演状況も行っている。

日本では文献や書誌の扱いはかなり軽く見られているように感じる。しかし、どんな研究も先行研究なしには成立しないこともまた事実である。先行研究は専門文献を読むことにより知ることができるが、書誌はさらにそれを網羅したものとなる。この意味では研究の基礎を支える重要な情報源となる。単なるリストの集合体ではない。その意味では本書では可能な限り、目次と頁数の掲載に務めた。

令和3年12月

佐々木 隆

## 凡 例

これまでの『日本シェイクスピア総覧』（1990年4月）に準拠する。

（例）

- ①平成1年 1月 ②木下順二 ③『シェイクスピア』（VII） ④講談社  
⑤『リア王』について  
⑥pp. 387-432  
⑦\*前半部は翻訳。

- ① 発行年月。元号表記。必要に応じて西暦表記を併記した。  
② 著者名(編者名)。本文が英文の場合には英文表記。  
③ 書名。定期刊行物・雑誌等の場合には雑誌名。本文が英文の場合には英文表記。  
④ 発行所。  
⑤ 論文名あるいは掲載内容。  
⑥ ページ数。必要に応じて\*印にてコメントやその他の情報、本文からの引用などを一部紹介した。翻訳本の場合には原著書や原題などをできるだけ併記した。

\*博士論文については国立国会図書館での記載内容を基本とした。

おもな利用施設等

### 図書館・施設

国立国会図書館

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

早稲田大学中央図書館

新国立劇場情報センター

国立劇場伝統芸能情報館

公益財団法人松竹大谷図書館

神奈川県立青少年センター演劇資料室 等

### インターネット

国立国会図書館 <https://www.ndl.go.jp/>

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館・早稲田大学中央図書館 <https://wine.wul.waseda.ac.jp/>

新国立劇場情報センター <https://www.nntt.jac.go.jp/centre/>

国立劇場伝統芸能情報館 <https://www.ntj.jac.go.jp/tradition.html>

日本シェイクスピア協会 <https://www.s-sj.org/>

- 平成 1 年 [1989] *Folklore, Superstition and Witchcraft.* Maruzen (Microform)  
 \*168 microfiches; 11 x 15 cm.  
 \*Co-published by University Microfilms International.  
 \*参考として取り上げた。
- 平成 1 年 岡本靖正他『シェイクスピア初期版本のト書き比較対照表』科学研究費補助金研究報告書 (昭和 63 年度)  
 \*総合研究 A (研究課題番号: 62301056)
- 平成 1 年 1 月 木下順二訳『シェイクスピア』(VII) 講談社  
 『リア王』について  
 1 リア王の内なる嵐, pp. 387-390  
 2 『リア王』の面白さについて, pp. 391-410  
 3 道化について, pp. 411-416  
 4 四大悲劇の周辺, pp. 417-432  
 『策には策を』について, pp. 435-446  
 \*前半は『リア王』と『策には策を』の翻訳。
- 平成 1 年 1 月 ゼッフィレリ/木村博江訳『ゼッフィレリ自伝』東京創元社  
 10 『ロミオとジュリエット』, pp. 188-215  
 13 シェイクスピアに戻る, pp. 263-290  
 19 『オテロ』, pp. 402-417  
 \*Zeffirelli, Franco. *The Autobiography of Franco Zeffirelli* の翻訳。
- 平成 1 年 1 月 ベルイマン/木原武一訳『ベルイマン自伝』新潮社  
 『リア王』の世界, pp. 282-286  
 \*Bergman, Ingmar. *Laterna Magica* の翻訳。
- 平成 1 年 1 月 河竹登志夫『歌舞伎美論』東京大学出版会  
 第 6 章 浄瑠璃・歌舞伎の劇的性格  
 第 1 節 諒解と諦観の悲劇  
 1 『妹背山』と『ロミオ』, pp. 197-203  
 2 悲劇の異同, pp. 203-210  
 3 日本近世劇の悲劇的性格, pp. 211-215
- 平成 1 年 1 月 野谷士『ユートピア文学襍記』山口書店  
 第 1 章 一つの提言 (序論にかえて) イギリスユートピア思想とシェイクスピアの『嵐』, pp. 1-27  
 第 2 章 四人のハムレット オフィーリアの見た理想の女性愛とは, pp. 28-67  
 第 3 章 シェイクスピアの女性たち、そのエコー理想の女性愛と

日本シェイクスピア研究書誌  
(平成編) (追加増補版) 2  
平成 17 年～平成 31 年

佐 々 木 隆



目 次

日本シェイクスピア研究書誌（平成編）（追加増補版）2 平成17年～平成31年	
日本シェイクスピア研究書誌 平成17年～平成31年	406
おわりに	719

日本シェイクスピア研究書誌 平成17年～平成31年

- 平成 17 年 (2005) Kishi, Tetsuo and Bradshaw, Graham. *Shakespeare in Japan*. Continuum  
 Preface, pp. vii-xii  
 Part 1: Adaptations and Translations  
 1 Shakespeare and Traditional Japanese Theatre: Tsubouchi Shoyo, pp. 1-28  
 2 Shakespeare in Japanese (I): Fukuda Tsuneari, pp. 29-52  
 3 Shakespeare in Japanese (II): Kinoshita Junji, pp. 53-72  
 Part 2: Productions and Creative Critiques  
 4 Shakespeare and the Japanese Stage, pp. 73-97  
 5 Shakespeare and Japanese Literature, pp. 98-125  
 6 Shakespeare and Japanese Film: Kurosawa Akira, pp. 126-145  
 Further Reading, pp. 146-147  
 Index, pp. 149-153
- 平成 17 年 2 月 Arai, Yoshio. *Zen in English Culture*. The Hokuseido Press  
 Chapter I The Bible and Shakespeare  
 1. Introduction, pp. 15-16  
 2. The Old Testament, pp. 17-19  
 3. The New Testament, pp. 19-20  
 4. Shakespeare, pp. 21-29  
 \*副題は Understanding Blyth Zen.
- 平成 17 年 2 月 美濃加茂市民ミュージアム編『——情熱の人——坪内逍遙』(展示図録)  
 美濃加茂市民ミュージアム  
 シェイクスピアと逍遙, pp. 22-25  
 荒井良雄, 美しい日本語の沙翁——坪内逍遙シェイクスピア全集を讀  
 えて, pp. 48-55
- 平成 17 年 2 月 山本良『小説の維新史』風間書房  
 序, pp. 1-3  
 注, p. 3  
 第 1 章 遊女の遺書—『開明小説春雨文庫』前後—  
 1 岩亀楼喜遊, pp. 4-7  
 2 喜遊伝の変遷, pp. 7-13  
 3 開化の遊女, pp. 14-21  
 4 明治維新の基底, pp. 22-26  
 注, pp. 26-27  
 第 2 章 分裂する東方—文学と東アジア秩序